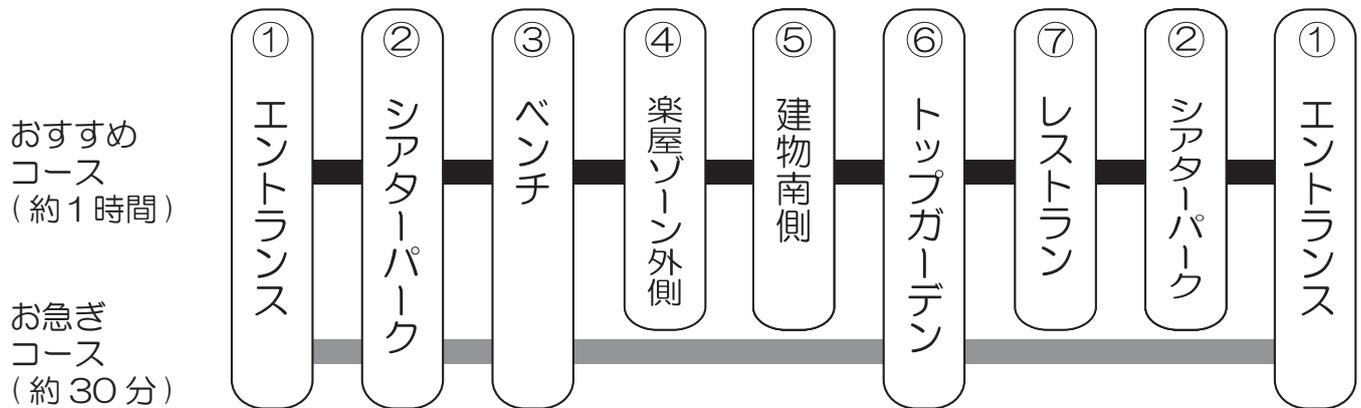


まつもと市民芸術館にようこそ！

フリースペース見どころご案内

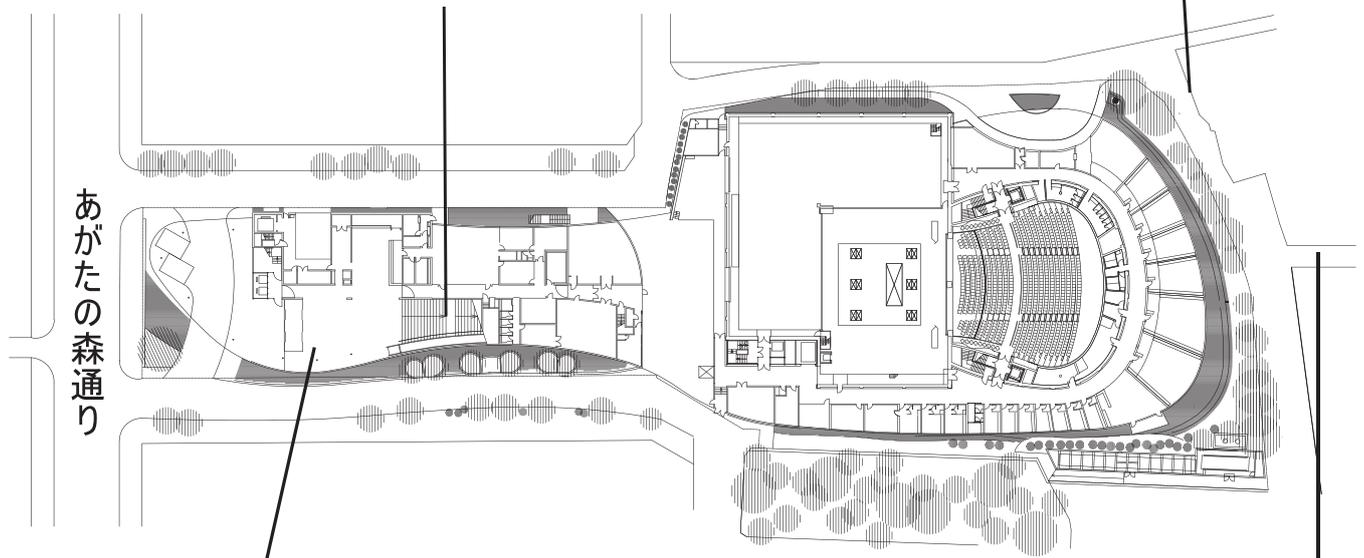


※ お客様の安全上、あるいはセキュリティ上、借主様の占有権と著作権保護の観点から、チケットもぎりから向こう側のホワイエ、主ホール、および小ホール、楽屋ゾーンへの立ち入りはご遠慮いただいております。

大階段
長さ45m、段の高さは足の負担を
考えて設計しました。

④ 楽屋ゾーン外側

川からの水と湧水を引き込んだ水路がめぐっています。ガラス象嵌からもれる光や自然光を水面で反射し、外壁にやわらかな模様を作り出しています。潜水艦の窓のような丸窓が続くあたりが楽屋ゾーンです。



1階

① エントランス

大理石張りの浮き床に開いている丸い穴は空調用。館内の空調はすべて下吹き出しです。

⑤ 建物南側

水路が街の中の小さな自然を形成し、また、楽屋を守る「お濠」としての役割も担っています。

主ホール上部のバルコニー周りは半透明のガラスで覆われています。

② シアターパーク

大階段を上ったところにある広大な空間がシアターパーク。通常の劇場設計ではすぐに客席になるところ、当館の客席への動線は奥へと続き、ホワイエを回り込んでホールへ向かっています。ガラス壁の向こうが主舞台の後ろ側です。コンペの10提案中1件のみだった建物の中央部に主舞台を配置する「逆転の設計」により、次のような利点が生まれました。

- 1 エントランスから客席までの広く長い空間を利用し、「鑑賞」への気分の高まりを演出できる。
- 2 高さがあるフライタワーを建物中央部に配置することによって周辺部への影響を抑えることができた。
- 3 ホール搬入口が建物中央部にあり、大型車両が建物後部まで回りこむ必要がない。

テーブル

ホワイエのバーカウンター付近に多数あり、公演時にお飲み物をいただくのに最適です。まさに大人の空間の演出です。

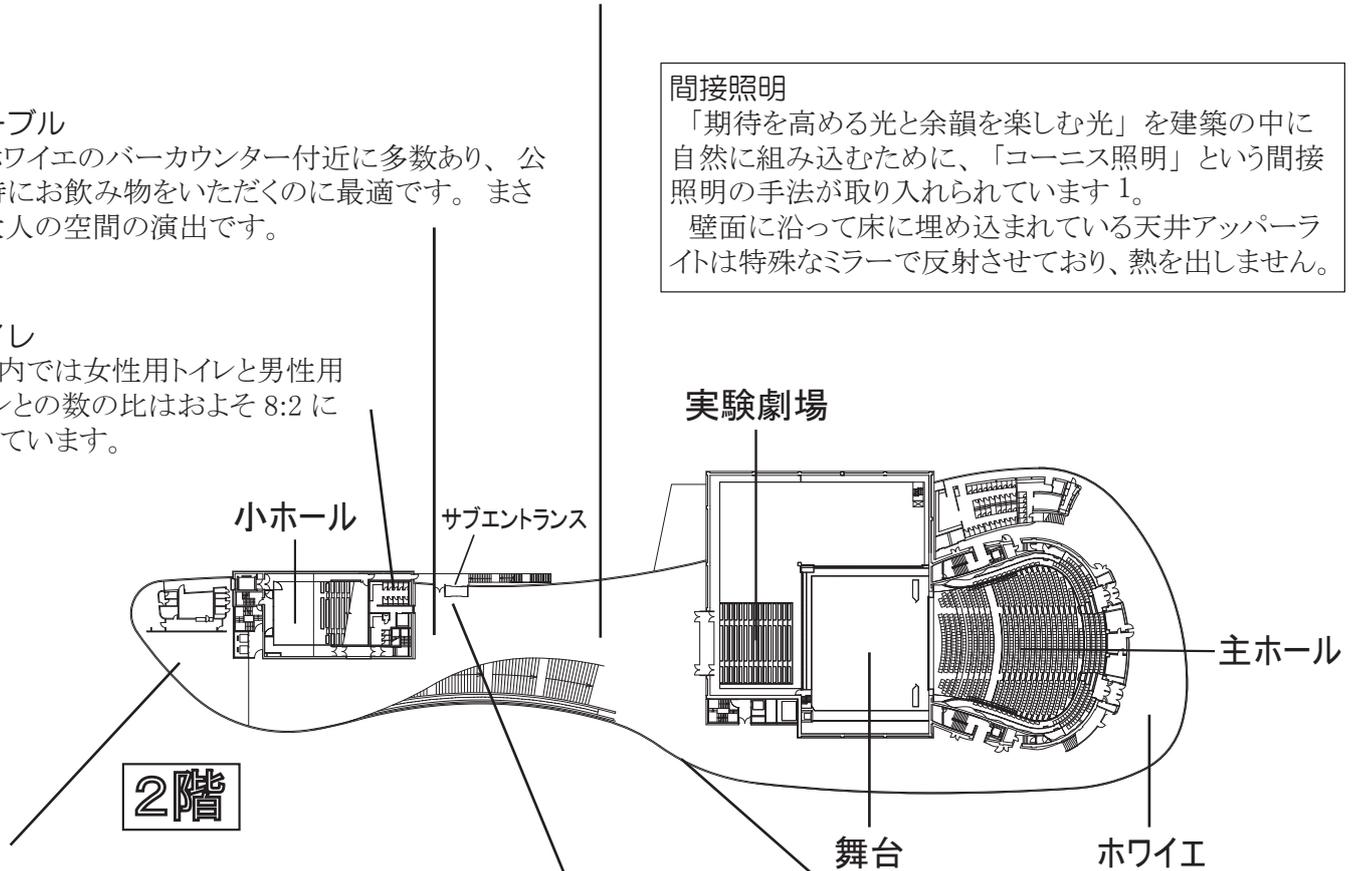
トイレ

館内では女性用トイレと男性用トイレとの数の比はおおよそ8:2になっています。

間接照明

「期待を高める光と余韻を楽しむ光」を建築の中に自然に組み込むために、「コーニス照明」という間接照明の手法が取り入れられています¹。

壁面に沿って床に埋め込まれている天井アッパライトは特殊なミラーで反射させており、熱を出しません。



⑦ レストラン

(見学にはレストランをご利用ください。)

ガラス象嵌を縮小した模様が施されている半透明のカーテンが、ガラス壁とGRC壁との連続性を見事に保ち、GRCパネルを覆う部分では光の入れ子構造を織り成しています²。

③ ベンチ

不均一な象嵌ガラスからこぼれる光を意識した不思議な曲線を持っています³。外形が染み出したようなグラデーションを施してあるカーペットを覆ってしまわないように設置面が小さく設計されています

ガラス象嵌 GRC 壁⁵

吊壁のGRCパネルに象嵌されたガラスは7種類、約2万個。昼は外から、夜は館内から光がこぼれます。

石英光ファイバによる照明も内蔵し、外壁と内壁との間の空間は断熱材にもなっています。

アルミキャストパネル

再生アルミニウムと廃ガラスから作られ、溶かせば再び容易に分離する環境にやさしい素材です。光の加減でさまざまな表情を見せるレリーフパネル⁶は外壁にもそのまま用いられています。

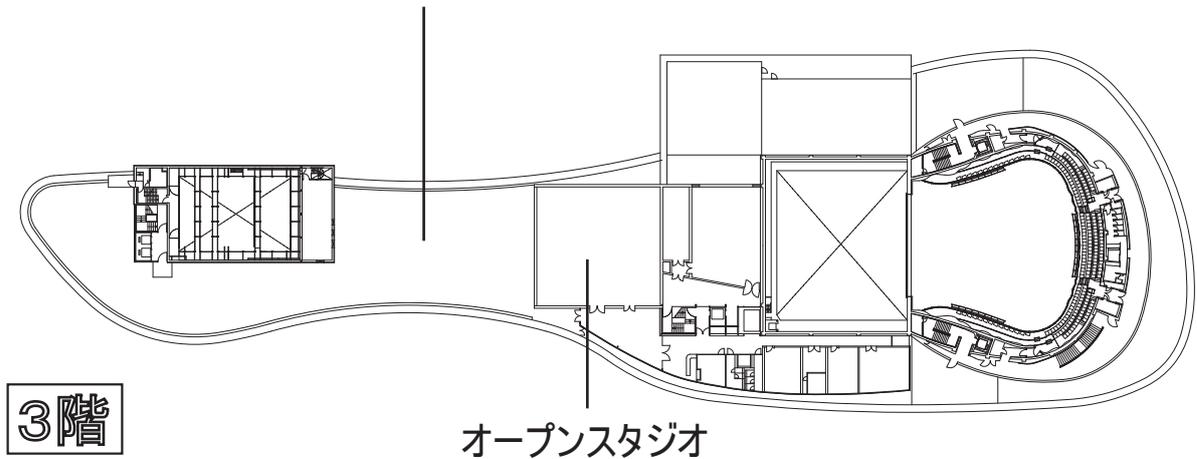
細い鋼鉄の円柱

アルミキャストパネルで覆われた主ホールと小ホールの2つのボックスで横力を受け止め、細い鋼鉄の円柱は鉛直方向の力のみを受け止めています。

「③ ベンチ」から「④ 楽屋ゾーン外側」へは、ベンチ横のサブエントランスから外に出て階段を下り、建物外周に沿って時計回りにお進みください。

⑥ トップガーデン（エントランス横（＝レストラン横）のエレベータで最上階へお上がりください）

開閉可能な大きなガラス開口部を持つリハーサル室＝オープンスタジオから見ると野外劇場のように見えます。緑化によって都市熱の緩和にも一役買っています。曲線の壁、黒く輝く2つのボックス、主ホール上部のガラス壁などを一度に見られるだけでなく、北アルプスの3,000m級の山々や美ヶ原高原も望めます。



- 1 東海林弘靖 /LIGHTDESIGN, 近代建築 Vol.58 August 2004,42 頁, 近代建築社,2004
- 2 NUNO 製、安東陽子 /NUNO, 商店建築 Vol.50 No.7 2005 年 7 月号,176-177 頁, 商店建築社,2005
- 3 伊東豊雄建築設計事務所設計
- 4 中山英之, 新建築 2004 年 7 月号,205p, 新建築社,2004
- 5 ガラス繊維強化プレキャストコンクリート板 フッ素樹脂塗装、旭ガラスビルウォール製
- 6 内外テクノス・ナイガイ建材製

※ 設計図の配布はいたしておりませんが、<http://www.mpac.jp> に一部の平面図と断面図とをご用意させていただきます。あるいは雑誌のバックナンバー等をご参照くださいませ。

本日はご来館ありがとうございました。当館では、独創的な設計デザインの主ホールと小ホールにて、年間を通じまして多彩な演劇、ダンス、コンサートなどをお楽しみいただけます。

公演内容、スケジュールなどは Web サイト <http://www.mpac.jp> でもご案内いたしております。また、当館主催公演には「託児サービス」を行うものもございますのでお気軽にお問い合わせください。

スタッフ一同、またのお越しを心よりお待ちしております。

まつもと市民芸術館

まつもと市民・芸術館
Matsumoto Performing Arts Centre

390-0815 長野県松本市深志 3 丁目 10 番 1 号
電話 0263-33-3800 (代) FAX0263-33-3830
E-MAIL: mpac@mpac.jp
チケットのお取扱い 0263-33-2200 (10:00 ~ 18:00)

参考文献

新建築 2004 年 7 月号,54-71 頁,新建築社,2004

新建築 2004 年 7 月号,205 頁,新建築社,2004

GA DOCUMENT 80,62-83 頁,A.D.A EDITA Tokyo,2004

日経アーキテクチャ 2004 10-4,8-15 頁,日経 BP 社,2004

GA JAPAN ENVIRONMENTAL DESIGN 7-8/2004 69,12-39 頁,A.D.A EDITA Tokyo,2004

近代建築 Vol.58 August 2004,39-48 頁,近代建築社,2004

商店建築 Vol. 50 No.7 2005 年 7 月号,176-177 頁,商店建築社,2005

主要データ

●名称:まつもと市民芸術館 ●所在地:長野県松本市深志 3-10-1 ●主用途:劇場 ●地域・地区:近隣商業地域、市街化区域、準防火地域 ●建ぺい率:77.44%(許容 90%)、容積率 209.84%(許容 300%) ●敷地面積:9,142.50 m² ●建築面積:7,080.02 m² ●延べ面積:19,184.38 m² ●構造・階数:SRC 造・一部 S 造・RC 造、地下 2 階、地上 7 階、棟屋 1 階 ●主要階面積:1 階 6,340.25 m²、3 階 4,695.95 m²、5 階 2,153.53 m² ●高さ:最高高 34.00m、軒高:33.55m、天井高:1 階エントランス 5.65m、3 階シアターパーク・ホワイエ 4.8m、主ホール:主舞台 27m、側舞台 12m、小ホール舞台 6.15m ●主なスパン:12m×12m

●発注:松本市 ●設計・監理者:伊東豊雄建築設計事務所、松本市建設部住宅課 ●設計協力・監理者、構造:佐々木睦朗構造計画研究所、設備:環境エンジニアリング、音響:永田音響設計、照明デザイン:ライトデザイン ●設計協力者、防災計画:明野設備研究所、外構:石川幹子+東京ランドスケープ研究所、サイン・CI デザイン:建築・都市ワークショップ(コーディネート)・マツダオフィス/牛若丸(デザイン)、ファブリック製作(布) ●施工者、建築:竹中工務店・戸田建設・松本土建 JV、空調:新菱冷熱工業・中央製作所・南信日立 JV、衛生:川崎設備工業・日管建設・徳永設備 JV、電気:日本電設工業・アイネット・三協電気工業 JV、舞台機構:カヤバ工業、舞台照明:松村電機製作所、舞台音響:ヤマハサウンドテック、外構:竹中工務店・戸田建設・松本土建 JV、外構植栽:信州グリーン、外構電気:日本電設工業・アイネット・三協電気工業 JV、外構機械:川崎設備工業・日管建設・徳永設備 JV ●設計期間:2000 年 11 月～2001 年 10 月 ●施工期間:2001 年 11 月～2004 年 3 月

●建設費(消費税込)、建築:123 億 1,671 万円(外構、備品家具を除く)、空調:18 億 1,650 万円、衛生:5 億 9,125 万円、電気:9 億 9,708 万円、舞台機構:11 億 3,956 万 5 千円、舞台照明:7 億 2,240 万円、舞台音響:6 億 8,250 万円、工事単価:約 64 万 2,000 円/m²(総工費/延べ床面積)

●主要外部仕上げ、外壁:ガラス象嵌 GRC プレキャストパネル フッ素樹脂塗装(旭ガラスビルウォール)、ガラス粒混入アルミキャストパネル(内外テクノス・ナイガイ建材)、押し出し成形セメント板 フッ素樹脂塗装(三菱マテリアル建材)

●主ホール内部仕上げ、床(舞台):檜集成材フローリング 指定色塗装+ウレタンクリア塗装(匠・プランニング)、床(客席):檜材フローリング 指定色塗装+UV 塗装(匠・プランニング)、壁:ハードメープル練り付け板 染色+ウレタンクリア塗装(匠・プランニング)、昇降天井:弾性リシン吹き付け、バルコニー天井:スウェード調起毛クロス・一部化粧ガラスウォール吸音板

<平成 23 年 4 月版>